

BeFine!

Systemex

株主・投資家の皆様との
コミュニケーション誌

第39期 第1四半期報告

平成17年8月発行

健やかな、未来のために。

特集

21世紀の ヘルスケア

高齢化社会でますます重要となる、日頃の健康管理。
ヘルスケア（医療関連産業）の分野に高度な技術で貢献している
シスメックスにライフサイエンス事業での一層の活躍が
期待されています。

- 業績の推移
- SYSMEX TOPICS
- IR・広報室からのお知らせ



インタビュー

代表取締役社長

家次 恒

Hisashi Ietsugu

私たちを取り巻く環境を読み解くと
21世紀の成長領域として
“ヘルスケア（医療関連産業）”が見えてきます。

人々の予防医療や、健康管理への関心の高まりに加えて、
がんや生活習慣病などの根拠に基づく診断・治療が
ますます重要になってきています。

シスメックスはライフサイエンス事業を
第2のエンジンとし、ヘルスケア分野で
活躍の場を拡げていきます。



***診療報酬**：社会保険により患者を診察・診療した医療機関や保険調剤を行った薬局などに支払われる代金のこと。その額は社会保険診療報酬点数表で定められている。

***独立行政法人化**：国が行っていた研究・検査や貿易保険などの事業を国から分離・独立して運営する法人のこと。

***DRG（疾病別包括支払い方式）**：Diagnosis Related Groupの略。各種疾病を数百のグループに分類して管理をおこなう手法。このDRGに基づき医療費の包括支払い制度のことをPPS（Prospectively Payment System）という。

***ポストゲノム**：遺伝子の中から役立つものを探りだしてその機能を明確にし、さらに個人差を生む原因となる塩基配列の違いを解明すること。ポストゲノム研究が進むことで、個人の塩基配列の違いによる「テーラーメード医療」など、医療技術の進歩が期待できる。

***再生医療**：人工的に培養したヒトの細胞や遺伝子を用いて、けがや病気で失われた細胞や欠陥のある臓器を再生する医療手法。

***リンパ節転移**：がんの転移方式の一つで、ある臓器で増殖したがん細胞がリンパ管の流れに乗って近接のリンパ節に転移を繰り返し、他の臓器へたどり着き、そこで増殖すること。この場合、病巣だけでなくがんが転移したリンパ節を含めて切除（郭清）することが再発予防に有効な手段となる。

***スクリーニング技術**：スクリーニングとは、異常と正常をふるいわけること、検体検査においては、精密な検査が必要なものと必要の無いものをふるいわけを目的に実施される。

PROFILE

家次 恒 いえつぐ ひさし

【出身地】大阪

【略歴】大学を卒業後、銀行に13年間勤務。その後、東亜医用電子株式会社（現シスメックス株式会社）に入社。1996年、代表取締役社長に就任。

【趣味】読書、ゴルフ、スポーツ観戦（熱心な阪神タイガースファン）

【信条】「意あらば通す」

21世紀の成長産業“ヘルスケア”

——医療を取り巻く環境が大きく変化していますが、どのような影響があると思われますか？

いま、世界の先進国では高齢化が急速に進んでいます。そのなかでも特に日本の高齢化は進み、世界の長寿国となりました。その日本はもちろん、高齢化が進む国々で共通の問題となっているのが、がんや生活習慣病の増加、そしてそれに伴う医療費の増大です。

その結果、高齢化の進んでいる先進国では、さまざまな医療制度の改革などが実施されています。日本では診療報酬*の引き下げや、国立病院の独立行政法人化*、薬事法の改正などが行われました。諸外国においては、ドイツではDRG*（疾病別包括支払い方式）の試行が始まっています。

また、BRIC's（ブラジル・ロシア・インド・中国）と呼ばれる国々では、今後経済成長とともに医療の市場拡大が予想されます。

そうした環境変化の中、医療の技術革新も進んでいます。たとえばポストゲノム*技術はめざましい進化をみせており、再生医療*等の先端医療の実用化や情報ネットワークの高速化なども進んでいます。

つまり世界はいま、先進国では高齢化、発展途上国では経済成長によって、ヘルスケアの大きなマーケットが生まれつつあるといえます。

ますます重要になる根拠に基づく診断・治療

——ヘルスケアの分野は、いま、どのような傾向にあるのでしょうか？

いまでこそ、世界の長寿国となった日本ですが、かつては先進国のなかでも平均寿命はそれほど長い国ではありませんでした。高度経済成長に支えられながら、「長生きのための医療」環境を整え、急速に平均寿命をのばしてきたのです。しかし、ここにきて別の問題が起こってきました。寿命がのびるとともに、生活習慣病のようなさまざまな病気になる確率が高くなってきているのです。長生きはできるけれども、健康ではない人が増えているというわけです。

こうした状況を受けて、国は医療政策の方向を見直し、健康で長く生きる「健康寿命」をのばすことをうたった『健康フロンティア戦略』を打ち出しました。この政策は、生活習慣病対策と介護予防が柱となった「予防医療」を重視しています。つまり病気にならないようにしましようということです。

これは「長生きのための医療」から「生活の質を高めるための医療」への転換とも言われ、生活の質を意味する「Quality of Life（クオリティ・オブ・ライフ）」は、ヘルスケアを重視したこれからの医療のキーワードともなっているのです。

健康フロンティア戦略

2005年度予算 約1,000億円

2005～2014年までの10年間の目標

生活習慣病対策と介護予防の推進による成果について数値目標を設定し、その達成を図ることにより健康寿命を2年程度伸ばすことを目指す。

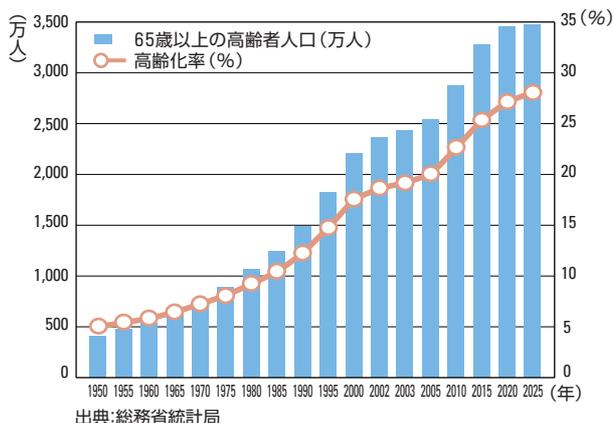
生活習慣病対策の推進

- がん対策…5年生存率を20%改善
- 心疾患対策…死亡率を25%改善
- 脳卒中対策…死亡率を25%改善
- 糖尿病対策…発生率を20%改善

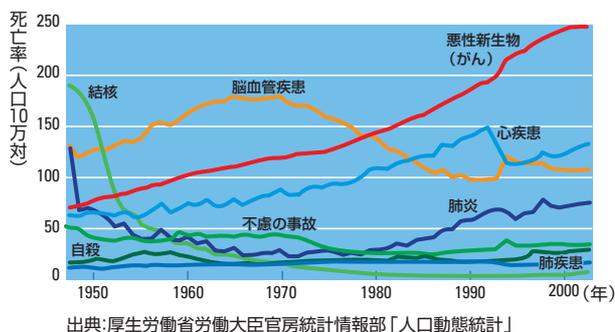
介護予防の推進

- 要介護者の減少…7人に1人→10人に1人

高齢者（65歳以上）人口の推移と予想



死亡率の推移

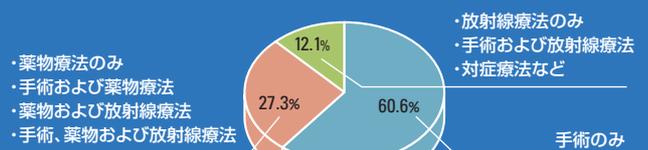


平均寿命の上位5カ国 (2002年度)

男女計		
1位	日本	81.9歳
2位	スイス	80.6歳
3位	オーストラリア	80.4歳
3位	スウェーデン	80.4歳
5位	カナダ	79.8歳

出典:総務省統計局

がん治療法の内訳 (総数 4,285件)



シスメックスの第2のエンジン ライフサイエンス事業

——すでに、人々の健康を見守る検体検査の領域で、リーディングカンパニーの地位を確立しているシスメックスですが、これからどのような展開をお考えですか？

「健康フロンティア戦略」にもあるように、がんの予防・治療は、現代医療における重要な課題の一つです。それは、がんが死亡率の高い病気であるという理由だけではありません。がん患者が増えていること、特に現在の主ながんの治療法は、患部を切除することですが、これにより身体の一部を失ってしまったり、抗がん剤の服用による副作用など、患者さんのQuality of Life (クオリティ・オブ・ライフ) が著しく低下することが問題なのです。

日本の生活習慣の欧米化が進むとともに、乳がん、大腸がん、肺がんなど、欧米に多いがんの患者さんが増えています。



それに対してがん治療もさまざまな方法が開発されてきました。今後は患者さん一人ひとりの体質や症状に見合った治療法、つまり、患者さんにとって最適な治療法をいかに提供するかが重要となってくるのです。

こうした、患者さん一人ひとりのがん予防・治療

を支援する分野で、シスメックスはいま、画期的な技術開発に取り組んでいます。

たとえば、女性に特有のがん、乳がん・子宮頸がん（子宮がん）の患者数は、欧米では減っているのに日本では年々増加傾向にある、発症頻度が非常に高いがんです。シスメックスは、乳がんの手術においてリンパ節中のがん細胞の転移を短時間で検出することのできる「がんリンパ節転移*迅速診断技術」をはじめとして、極めて高い精度で乳がんの再発を予測する「がん再発予測診断技術」や、患者さんに最も効果的な抗がん剤を投与前に選定することができる「抗がん剤効果予測診断技術」、そして子宮頸がん（子宮がん）を早期に発見する「子宮頸がんスクリーニング技術*」など、2006年度以降に順次市場導入を予定しています。

これらの技術はどれも、がんと闘う患者さんの、まさにクオリティ・オブ・ライフの向上に貢献する取り組みばかりです。

私は、ヘルスケアの分野で、重要な役割を果たすことがシスメックスの使命であると確信しています。これからのシスメックスの活躍にご期待いただくとともに、ご支援のほどよろしく申し上げます。



当社では温室効果ガス削減のために、夏のオフィスの適正冷房を徹底しています。当社従業員はノーネクタイ・ノー上着ファッションで業務を行っています。

業績の推移 | 当社グループの第1四半期は、高性能・高品質な商品力に加えて、システム化やIT（情報技術）、サービス&サポート体制等、他社にない総合力を強みとして、各地域の特性に合わせたソリューションの提供を推進しました。

その結果、当第1四半期の連結売上高は19,755百万円（前年同期比17.9%増）となり、所在地別売上高では日本売上高は7,325百万円（前年同期比5.3%増）、米州売上高は3,611百万円（前年同期比13.1%増）、欧州売上高は6,608百万円（前年同期比21.4%増）、中国売上高は

1,353百万円（前年同期比131.8%増）、アジア・パシフィック売上高は856百万円（前年同期比48.8%増）となりました。

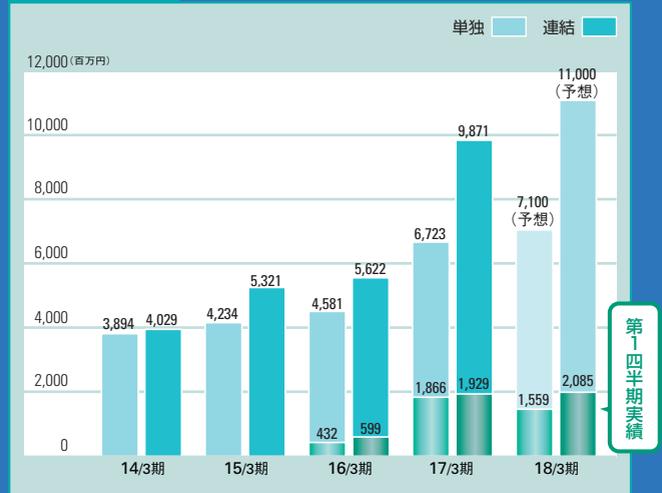
利益面では、営業利益は増収効果により販売費及び一般管理費の増加を吸収し、1,904百万円（前年同期比25.8%増）となりました。また、為替差益の減少はあったものの、経常利益は2,085百万円（前年同期比8.1%増）、四半期純利益は1,288百万円（前年同期比36.4%増）となりました。

※当連結会計年度から一部を除く連結子会社の決算期を親会社と統一するために変更しております。

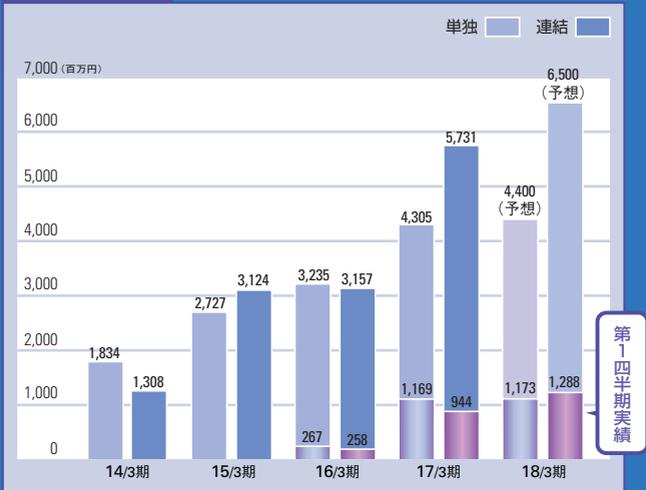
売上高



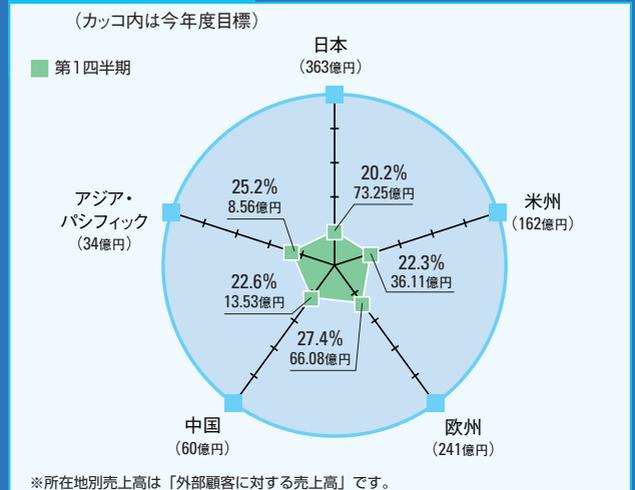
経常利益



当期純利益



所在地別売上高達成率



シスメックス・トピックス

2005/4-6

SYSMEX TOPICS

四半期の動向

震災復興10年の「Tシャツプロジェクト」に参画しています。

阪神大震災から10年目を迎えた神戸では、安全で安心な魅力あふれる21世紀のまちづくりを目指したプロジェクト「震災10年 神戸からの発信」を進めていますが、当社は、このプロジェクトの一環である「many thanks from KOBE Tシャツプロジェクト」に参画しました。これは、一般市民、NPO、サークル、企業等が参加し、これまでの復興支援への感謝や未来に向けての決意などをオリジナルTシャツに込



- 4月>> 米国がん学会にてテーラーメイド医療につながる抗がん剤の効果診断法を発表
- 4月>> 地域貢献の一環として、神戸市立王子動物園のパンダを支援
- 5月>> 欧州試薬工場の増強および東欧での販売・サービス網拡充
- 5月>> シスメックスグループ中期経営計画を策定
- 6月>> 株式会社ビー・エム・エル様より血液検査システムを受注



めて、世界中の人々に発信していこうというものです。当社Tシャツのコンセプトは「いのちの数だけ笑顔にあふれて欲しい」。世界中の人々が健康で幸せに生きていけるように、という願いを込めました。震災10年を機に皆様に感謝の気持ちを表すとともに、神戸の企業として豊かな健康社会づくりを目指していきたいと思ひます。

◆ 当社オリジナルTシャツプレゼントのご案内 ◆

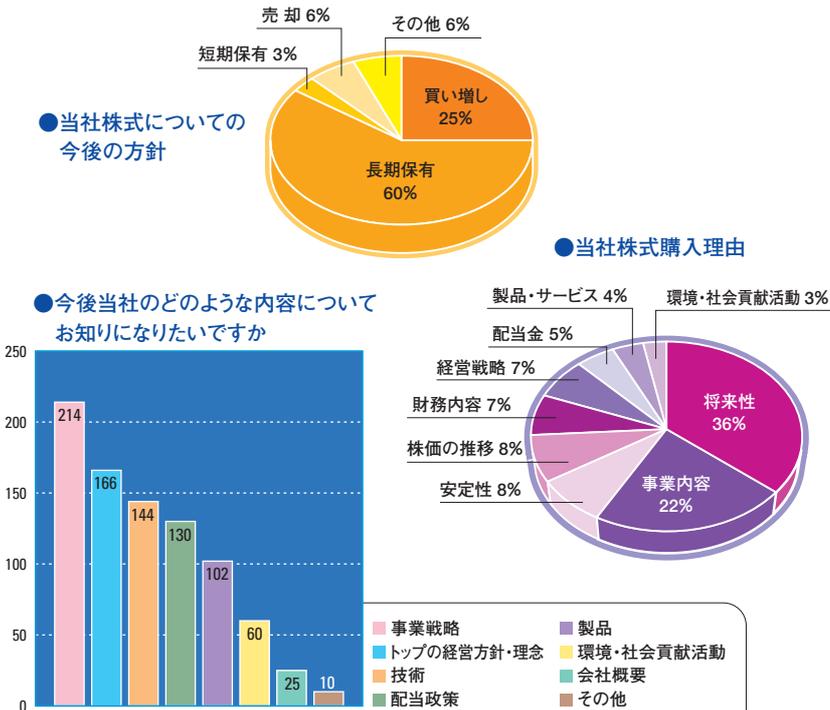
今回の株主通信「Be Fine!」をご覧いただき、アンケートにお答えいただいた方、先着500名様に当社デザインオリジナルTシャツをプレゼントさせていただきます。ご希望の方は同封のアンケートはがきに必要な事項をご記入の上、お申込み下さい。



IR・広報室からのお知らせ

株主アンケート結果のご報告

前回の事業報告書で行いました「株主アンケート」の結果速報をご報告します。7月末現在、436通（総株主数の約7%）のご回答をいただきました。アンケートにご協力いただきまして、まことにありがとうございました。



ご意見欄では、

「地元神戸の企業として、他に誇れる会社だと思っています。乳がんが苦しむ方々のためにこれからも頑張ってください。」

(40代女性)

「最愛の妻をがんで亡くしました。世の中からがんが無くなる様、貴社の技術に期待します。」

(70代男性)

等、大変多くの激励のお言葉を頂戴しました。事業報告書の評価では、「分かりやすい」とお答えいただいた方が大半を占め、今後の励みとなりました。

また、今回初めてお届けしました株主通信「Be Fine!」はいかがでしたか？

ご覧になってのご感想を始め、皆様がお知りになりたいこと、率直なご意見など、さまざまな声をいただき、今後のIR活動に活かしてまいりたいと思います。同封のはがきに必要事項をご記入の上、ご投函ください。今回は、先着500名様にTシャツをプレゼントさせていただきます。詳しくは、前頁トピックスをご覧ください。(IR・広報室 H.Y)

大証主催 IRフェアに出展！ 投資家様との直接コミュニケーション

7月21日(木)マイドームおおさかにて、大阪証券取引所主催「OSE IRフェア 2005」が開催され、当社をはじめ、ニプロ(株)や帝人(株)、オムロン(株)、イズミヤ(株)、(株)パナソニック等32社が出展しました。

フェア全体の来場者は、1500名を超え、当社ブースには600名以上の方が来られました。



当社ブース



株式メモ

■ 決算期日	3月31日
■ 定時株主総会	6月
■ 基準日	定時株主総会 3月31日/利益配当金 3月31日/中間配当金 9月30日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告して設定します。
■ 公告掲載新聞	日本経済新聞
■ 上場証券取引所	東京証券取引所市場第1部 大阪証券取引所市場第1部
■ 証券コード	6869
■ 1単元の株式の数	100株
■ 株式事務	名義書換代理人 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社 同事務取扱場所 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部 〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-707-696 (フリーダイヤル) 同取次所 三菱信託銀行株式会社 全国各支店

会社概要

(2005年6月30日現在)

■ 商号	シスメックス株式会社 SYSMEX CORPORATION (平成10年10月1日東亜医用電子株式会社から商号変更)
■ 設立年月日	昭和43年2月20日
■ 資本金	79億5459万円
■ 格付	A (R&I:格付投資情報センター)
■ 従業員数	1,632名
■ 主な事業の内容	臨床検査機器、検査用試薬、粒子分析機器ならびに関連ソフトウェアなどの開発・製造・販売・輸出入
■ 主な事業所	本社 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号 TEL.078-265-0500(代) FAX.078-265-0524 ソリューションセンター テクノセンター R&Dセンター 加古川工場 小野工場 仙台支店 北関東支店 東京支店 名古屋支店 大阪支店 広島支店 福岡支店 営業所: 札幌、盛岡、長野、新潟、千葉、横浜、静岡、金沢、 京都、神戸、高松、岡山、鹿児島